



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番

(公) 043(222)7207 番

FAX 043(24)7197 番

2001. 2. 28. No. 5274.

春闘勝利、「シニア制度」-業務外注化阻止

3月春闘スト方針を決定

第44回定期委員会開催

動労千葉第四四回定期委員会が二月二四日DC会館において、委員・傍聴者六〇名の結集の中開催された。

委員会は繁沢副委員長の開会あいさつで始まり、議長に幕張支部石幡委員を選出して議事がすすめられた。執行委員長あいさつ『後日掲』、来賓の水野勝浦市議のあいさつを受けたのち、スローガン案提起、執行部より経過報告、運動方針案、協約協定締結報告が提案され、一月一日に東労組から結集した銚子支部名雪君から、共に闘う強い決意が表明された。つづいて質疑応答に移り、熱い議論がかわされ、本部答弁を受けたのち満場の拍手をもって執行部提案を承認した。

委員会宣言採択、国労の一〇四七名の切り捨てを意味する「四党合意」受け入れを弾劾し、原点にかえった闘いの継続を訴える国労闘争団や組合員、全国の支援の仲間たちとともに、国鉄闘争の勝利と闘う労働運動の再生に向けて、闘いのさらなる強化・再構築を図るために全力で立ちあがる声明を発したのち、君塚副委員長のあいさつ、中野委員長の団結ガンバローで委員会は成功のうちに終了した。



2001年春闘をストライキで闘うぞ！

三月春闘スト方針決定！

委員会では、次のとおり二〇〇一年春闘勝利と「シニア制度」業務外注化阻止、反合・運転保安確立に向けた要求等を結合して三月春闘ストライキに組織の総力をあげて対決する方針を決定した。

(1) 二月二〇日に開かれた「シニア制度地労委」第一回審問において、千葉地方労働委員は、公益委員会での合議の結論として、JR東日本に対し「申立て人三名に係わる定年後の再雇用先について、早急に具体的な情報提供等を行なうことを要求する」旨言い渡

したことにふまえ、当該組合員の六〇歳以降の雇用確保等について直ちに申し入れを行なうとともに、JR東日本が千葉地労委の要望を履行しない場合は、大会決定方針に基づき、いつでも組織をあげた闘いに突入できる準備体制を確立する。

(2) 検修・構内業務の委託拡大を一方的に強化しようとする動きが明らかになった場合は、いつでも組織をあげた闘いに突入できる準備体制を確立する。

(3) 今春闘は、①三万八千円の大幅賃上げ獲得-JR貨物の超低額回答打破。②JR貨物における「生活改善一時金」三十万円(五五歳以上の社員は四十万円)の獲得等の要求を掲げ、とくにシニア・外注化阻止闘争に向けた第一波闘争と位置づけた闘いを展開することとし、本委員会終了後直ちに、いついかなるときでも組織をあげた闘いに突入できる準備体制を確立する。

委員会では出された主な意見

★今後の貨物職場の将来展望は、勤乗勤の改善で、どのような点が変わるのか。『千葉機』

★これまでも増して組織拡大に取り組むので、各支部も全

力でやりぬこう。

銚子・佐原の営業配転者の勤務等で問題が発生しているの

で、早急に対策を。『銚子』

★女性車掌の登用で限定交番ができるならば、シニア交番もできるのでは。

平成採の研修等で、ヨビもないので対策を。『津田沼』

★DL問題(手当・勤務等)の早期解決を。

組織拡大もいろいろ取り組んでいきたい。『千葉転』

★検修合理化・仕業検査の延伸要員問題はこうなっているのか。『幕張』

★春闘スト方針をふまえ支部一丸で闘っていく。『木更津』

第44回 国鉄千葉動



決意表明する名雪君！